

《担当者名》 鎌田樹寛 t.kamada@hoku-iryo-u.ac.jp 池田千紗

【概要】

本講義は、DP4に該当する科目である。具体的には、職業リハビリテーションの国際的背景、我が国の職業リハビリテーション施策の特徴、キャリア発達の理論、就労支援の現状と実際について学修する。加えて、就業援助に関わる作業療法(士)の役割について理解する。

【学修目標】

一般目標

職業リハビリテーションの国際的背景や理念を踏まえ、わが国の施策の特徴や課題、キャリア発達の理論を理解することや、就労支援の実際(障害特性ごと)に対する作業療法や作業療法士の役割について、理解することを目標とする。

行動目標

1. 職業リハビリテーションに関する国際的な理念・歴史を説明できる。
2. 日本の職業リハビリテーション施策の特徴を説明できる。
3. キャリア発達の理論を説明できる。
4. 日本の就労支援の課題が説明できる。
5. 職業リハビリテーションにおいて、作業療法士の役割を説明できる。
6. 障害特性から見た就労支援の特徴を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	就労支援の知識(1)	1. 職業リハビリテーションの国際的な理念・歴史や動向を学ぶ。 2. 日本の職業リハビリテーション施策の特徴を学ぶ。	鎌田樹寛
2	就労支援の知識(2)	キャリア発達の理論について学ぶ。	鎌田樹寛
3	就労支援の知識(3)	日本の就労支援の現状について学ぶ。	鎌田樹寛
4	職業リハビリテーションと作業療法	職業リハビリテーションでの作業療法士の役割について学ぶ。	鎌田樹寛
5	就労支援の実際(1)	障害特性(発達障害)から見た支援の実際について学ぶ。	池田千紗
6	就労支援の実際(2)	障害特性(精神障害)から見た支援の実際について学ぶ。	鎌田樹寛
7	就労支援の実際(3)	障害特性(身体障害・高次脳機能障害)から見た支援の実際について学ぶ。	池田千紗
8	就労支援の実際(4)	雇用促進法に基づく就労支援の実際について学ぶ。	池田千紗

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート課題: 100%

【教科書】

特に指定しない(適宜資料を配布する)。

【参考書】

能登真一 編 他 「作業療法評価学第3版」 医学書院 2017年  
 松為信雄 菊池恵美子 編 「職業リハビリテーション学(改訂第2版)」 協同医書出版社 2006年  
 平賀昭信 岩瀬義昭 編 作業療法全書 「職業関連活動」 協同医書出版社 2009年  
 その他必要があれば、講義の中で紹介する。

【備考】

- ・講義配布資料等は、manabaにアップする（鎌田）
- ・質疑応答、感想等のフィードバックは、manabaを用いる（鎌田）

#### 【学修の準備】

上記参考書や地域作業療法の教科書で、「就労支援に関する章」を予め読んでおくこと(予習・復習各80分)。

#### 【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

(DP4)リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、適切に対処できる実践的能力を身につけます。

#### 【実務経験】

鎌田樹寛（作業療法士）、池田千紗（作業療法士）

#### 【実務経験を活かした教育内容】

実務経験（精神障害・身体障害・発達障害・地域等）を踏まえ、リハビリテーションや作業療法の基盤理念の下に、科学的根拠に基づく知識を伝達する。